

2012年4月 経済学部新入生オリエンテーション 学部長挨拶

新入生の皆さん入学おめでとうございます。学部長の西原です。

昨日はウェブ履修登録だったようですが、うまくできたでしょうか。おそらく、このようなことは始めてで面喰った方も多かったかもしれません。高校までは授業科目はすでに決まっています、自分で自由に決められるのは芸術科目くらいだったと思います。大学に来たらいきなり、あのような分厚いシラバスと巨大な時間割表を渡されて「科目は自分で選んでください」、「登録はパソコンを使って自分でやってください」ですから驚かれたとしても無理はありません。

昨日の履修登録が、ある意味で大学生活を象徴しています。大学と言うところは、自由度が高く、自分のことは自分で決める場所です。履修科目もそうですし、生活の仕方、授業の出席、試験勉強のしかたなど、すべて自分で決めることができます。しかし、決めたことについては、自分自身が責任を採らなくてはいけません。結果は全て自分1人が背負うこととなります。つまり、「自己管理」と「自己責任」が大学生活のキーワードです。

そのような大学生活で心にとめ、覚えていて欲しいことは、将来皆さんは就職し社会人として働くということです。そしてそのときには、皆さんに必要なになるものは何かというと、それは総合的な人間力です。仕事ができるかどうかは総合的な人間力によって決まります。就職活動のときには企業の人事担当者は面接や試験で皆さんの人間力を見極めようとします。

人間力を構成するものは何かというと、知識、考える力、コミュニケーション能力、行動力といったものです。

考えてみてください。中学生くらいの知識しかない人に仕事がつとまるでしょうか。仕事を行うとき、様々な問題が持ち上がります。考える力のない人がそれに対処できるでしょうか。コミュニケーション能力のない人が、お客さんに商品の説明ができるでしょうか、上司の命令が理解できるでしょうか。行動力のない人がお客さんのクレームに即座に対処できるでしょうか。新しいお客さんを開拓できるでしょうか。

人間力を構成するこれらの要素の一部は、勉強によって高めることができます。勉強にはしっかり取り組んでください。まず、大学の勉強はおろそかにできません。また、会計や不動産取引などの専門的知識を得るために授業以外の勉強に取り組むのもよいでしょう。英語の好きな方は英語の資格試験に取り組んでみてください。コミュニケーション能力や行動力などは、勉強以外の活動、例えば、部活動、サークル活動、友人関係、ボランティアなどの社会活動によっても培われます。

よく、学生の中に最低限これだけやっておけばいいという考え方をする人がいますが、それではだめです。人間力は高まりません。

卒業するために最低これだけやっておけばいいや。とか、やらなくていいものはかったるいから止めておこう・・・という考えかたでは、人間力の弱い、おそらく何の魅力もない、仕事を一緒にしたいとはとても思えないような人物が出来上がるでしょう。そんな人は就職はできないでしょうし、運よく就職できたとしても仕事がつづけられないでしょう。

つねにプラスアルファを求め、いろいろ試してやろう、身に付きそうなことはなんでもやってみよう、色んな人と出会って話をしよう、何でも見てやろう、といった積極的な気

持ちが、長い間に皆さんの人間力を高めてくれます。

皆さんの将来は、いま、皆さんの手の中にあります。経済学は選択の科学といわれていますが、皆さんは日々の生活において選択を行い、その結果として自分の将来を選択することになります。人間力というキーワードを頭において、積極的な人生を歩んでください。これからの4年間、大いに学び、大いに楽しんで、人間力のある、仕事のできる、魅力的な人物となってこの大学を卒業してほしいと思います。